＝赤い羽根共同募金始まる＝

10月1日～31日

▲毎年行われます赤い羽根共同募金運動は今年も十月一日から一カ月間行われることになりました。皆さん方のあたたかい心で恵まれない気の毒な人々が少しでも楽しい日々を送ることができて、明るい社会となりますよう是非ご理解あるご協力をお願いいたします。

不幸な人に愛の手を

1年早くなつた 水道拡張工事
来年夏には水不足を解消

近年急激な水道使用量の増加に伴い、市の水道局では、昨年七月より工費二億一千万円をもつて昭和三十三年六月までに一日当り一万立方米の増量を目途として拡張工事を実施中であります。

一方本年に入つてからは、送水管等のパイプクリーニングや配水管の一部布設替、或いは給水車の運転等積極的にその対策を講じてきましたが、本年七、八月の状況は水の需用が急に増加して七月二十七日には、市水道創設以来最大の水量である五万一千五十一立方米の配水を記録するに至りました。幸いパイプクリーニングの結果が予期以上に良好であつたため、この苦境を突破することができましたが、明年夏季においては恐らく本年の最大配水量を更に上廻り、現在の桃山町や藤見町のような断水状態となる区域が市内各所に発生することが懸念されるに至りましたので、今回この対策を種々検討いたしました結果、拡張工事の一カ年繰上げを断行することになつたものであります。

これによつて予想されていた明年夏季の水不足はほとんど解消される予定であります。

第3回 婦人大学講座開講
主催 新潟市教育委員会

初秋の風が肌にさわやかな季節となりました。

大火一周年を迎えて新潟市の復興も目覚しく発展し、市民に心強さを与えております。さてお待ちかねの婦人大学講座の第三回目を、次のような計画で開講することになりました。

今は読書の秋です。しばし御家庭の雑事から離れてこの大学の門をくぐつて下さい。

皆さん多数の御参加をお待ちしております。

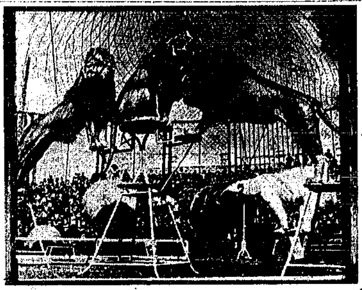
一、期間　十月二十三日から十一月八日まで。
毎週火、水、木曜日の九日間。
午後一時三十分から午後四時まで

二、会場　新潟大学教育学部教室

三、内容及び講師
1「ソ連、中共を見てきて」新潟日報社主筆 松井敬先生
2「最近の婦人に関する問題について」労働省婦人少年局、新潟婦人少年室長 増尾栄子先生
3「文学について」新潟大学教授 阿達義雄先生
4「日常生活の精神分析について」日本精神分析学会会員 桂恵美子先生

四、募集人員　一〇〇名（先着順）

五、申込要領　十月十五日から十月二十日までの間に市教育委員会社会教育課に、テキスト代金一〇〇円を添えて申込み下さい。申込用紙は同課にあります。



世界動物博

◎会期 9月28日から11月5日まで

◎会場 白山総合グランド

新潟市の復興と、学童の社会科教育の一助にもと、新潟市観光協会、新潟商工会議所主催で九月二十八日から十一月五日まで、白山総合グランドで「世界動物博覧会」が開催されています。

この動物博覧会には、市民の皆さんがまだ一度もみることの出来なかつたアフリカ産ゴリラや、アフリカ象を始め、ライオン三十五頭、象十六頭と、世界の珍獣、奇鳥三千を数える地上最大の動物園であります。

なお同時に公開されますドイツハーゲンベック猛獣混成ショウ（ライオン三頭、白熊二頭、熊(ひぐま)三頭の曲芸）やアメリカタイガーショウ（トラ五頭の曲技）イギリスライオンショウ（ライオン五頭と洋犬の妙技）などスリルと教育を併せた空前の催しとして市民の皆さんにお奨めいたします。

入場料

大人	200円
小人	100
幼児	50
団体割引（50名以上）	
一般	180円
高校生	130
中学生	80
小学生	60
幼児	40

主催　新潟市観光協会　新潟商工会議所

秋の大掃除

例年のとおり十月一日から十月三十一日まで県下一斉に行われます秋の清掃運動に当り、市では次の計画に基づきまして全市の大掃除を実施することにいたしました。

やがて訪れるながい冬ごもりを前に、汚れた室内外を清潔にするほか、越冬害虫を駆除し来春の発生を防止することは、衛生上又は健康保持の上からも極めて大きな意義があります。

どうぞ秋晴れの一日に一家そろつて秋の大掃除を実施して下さい。

一、期間　十月一日から十月三十一日まで

二、実施地域　全市、但し支所及び農業関係の方は適当な日を定めて実施すること。

三、掃除の方法
1 宅地、家屋内外の清潔、整頓、乾燥。
2 室内の採光、換気をよくすること。
3 たたみ、ふとん等の日光消毒。
4 室内、たたみ、床下、ごみ箱、便所、汲取口等に殺虫剤を散布すること。
5 便所、ごみ箱にねずみ、蝿の出入ができないように完全に「ふた」をすること。
6 下水の流水をよくし越冬害虫を駆除すること。

ごみの処理についてお願い！

ごみの処理については常に皆さんからご協力を願つておりますが、更に次の点について一層のご協力をお願い申し上げます。

一、ごみの減量について

紙屑、ぼろ、その他の廃品や不用品等は、すぐに捨てないで売れるものは売つていただくようにすれば全市でごみが二割も減量される見込みです。重量にして五、〇〇〇貫以上にもなり、これを運搬する自動車が延七台も一日に減らされることになります。

このようにしていただければ毎日のごみの収集状況もずつとよくなり又経費も節減されることになります。

二、共同ごみ箱の管理と設置促進について

最近共同ごみ箱の管理が大層よくなりましたが、まだ不充分な地区も見受けられます。これが改善については、次の点を実行していただきたいと存じますので、それぞれ町内の事情とも考え合せ、ご採用下さい。

1、ごみ箱の利用時間をきめること。
午前九時まで又は日没より翌朝午前九時まで（この時間の決定は町内の実情による）

2、掃除をすること。
市がごみを集めた後は交代制で掃除をし薬剤散布を行う。

なお共同ごみ箱を未だ設置していない地区はなるべく速やかに設置して下さい。

三、ごみの不法投棄について

このことについては大部よくなりましたが、まだごみ箱に入れしなかつたり、畑や空地に捨てる者があることは残念に思います。これは環境衛生の面や都市の美観上からばかりでなく法令によつて禁ぜられていることでありますから充分気をつけて下さい。

四、多量汚物の自己処分について

一日三〇瓩以上のごみを出される方は条例で本人が運搬するか処分することになつております。

市の終末処理場が遠くなつた関係か最近大量のごみを共同塵箱の脇、空地、海岸等に捨てられておりますので、発見の都度注意し運搬していただいております。

最近火災の復興作業が急速に進み、又市内各所で見受けられる新改築工事等によりごみが多量に排出されておりますので重ねてお願いいたします。

なおごみの処理場は山ノ下船江町（旧河渡海岸）、泰安寺裏の海岸になつております。

優良赤ちゃん表彰さる

今年の秋の赤ちゃんコンクールは、去る九月十四日市保健所に於て開催されましたが、表彰された各月別に生れた赤ちゃんのうち三位までのものは次のとおりでありました。

なお今回の出場者は男児一二三人、女児八三人計二〇六人で、入賞者は男児六〇人、女児四九人計一〇九人であります。

順位	氏名	保護者	住所
◎昭和三十年四月生			
（男児）			
1	山田朗	庄五	西馬越
2	渡辺啓一	喜一郎	寺尾
3	高橋正吾	光蔵	窪田町五
（女児）			
1	池田公子	良昭	竹山
2	竹之内町子	[illegible]	古町通十三
3	松田律子	信雄	山ノ下臨港町
◎昭和三十年五月生			
（男児）			
1	笹川隆	静夫	末広町四
2	西田誠	弘	西大畑町
3	佐藤良一	金弥	関屋田町四
（女児）			
1	菅井代利子	良一	山二つ
2	笠原久美子	久治	稲荷町三
3	吉井京子	俊幸	流作場
◎昭和三十年六月生			
（男児）			
1	山田寿義	義弘	松崎
2	玉木清一	清喜	末広通四
3	榎並昌之	耕二	沼垂上六
（女児）			
1	田巻久美子	喜一郎	寄居町
2	宮島俊子	勝作	東堀前通八
3	斎藤ひとみ	正治	西山町
◎昭和三十年七月生			
（男児）			
1	石黒巌	芳男	長嶺
2	桜沢一之	俊雄	窪田町一
3	増井光	茂男	日ノ出町三
（女児）			
1	内山みなえ	英一	関屋本村町一
2	大咲陽子	初一	山木戸
3	小熊アケミ	力	太郎代
◎昭和三十年八月生			
（男児）			
1	井越光広	三次郎	寄合町
2	石崎和人	元造	早川町三
3	八藤後茂樹	恒樹	宮浦町二
（女児）			
1	黒島教子	豊士	稲荷町
2	田中和江	松次	寺尾
3	藤田典子	広始	西堀通六
◎昭和三十年九月生			
（男児）			
1	木村光弘	弘	松浜町
2	青野稔	久吉	曙町
3	青島良夫	臨一	流作場駅前
（女児）			
1	森田奨和子	光雄	関屋田町二
2	上原裕子	智夫	西大畑町
3	佐藤礼子	幸作	上大川前十一

〝坊やの体重は……ウーン重いぞ〟

し尿の汲取は汲取券で

便所の汲取料は必ず汲取券で支払していただくことについては、たびたびお願い申し上げているところでありますが、ややもするとこれが徹底を欠き知らないで現金をお渡しする方が案外多いようでありますので、再び汲取券使用についてご協力をお願いいたします。

汲取料は一桶（二斗入）十二円、半桶（一斗入）六円と定められて一桶券と半桶券の二種が発行されております。そしてこの売捌は嘱託員又は衛生課、各支所出張所で取扱つております。

券は汲取量に応じて渡すのですが、一桶に満たない場合にも一桶分、半桶に満たない場合でも半桶分を支払うことになつています。

汲取券制度は適正な汲取料を負担していただくために設けられたのであつて、現金を払うことによつて不当に請求されたり負担させられることを防止するためです。そのほか市民生活に大きな関係を持つ汲取が、皆さんに満足するように行われるためには、市民が汲取料をどの位支払つているかということを正確に知る必要が生じてきます。汲取券は面倒だからといつて現金を支払いますと、結果的に負担の増諾を招くこともあり、しらずしらずのうちに汲取料が規定より高いものになることが懸念されます。

し尿が滞りなく処理されることは都市行政の重大なる事業であると共に市民生活においても重要な生活要素の問題であります。「臭いもの汚いものは速やかに衛生的に処理されなければならないし、市も又懸命に努力をつゞけています。そのためには、手数のかかることであり小さなことであるかも知れませんが、汲取券についてもつと大きな関心を持つていたゞき、必ずこの汲取券を使用下さるようにご協力を願います。

全国かまぼこ品評会開催
11月7日～11日
会場 小林デパート

来る十一月七日から十一日まで新潟市小林百貨店において第九回全国かまぼこ品評会が開催されます。

この会は戦後国民栄養補給源として重要な役割を果している〃かまぼこ〃の品質向上と消費宣伝を目的としたもので、北は北海道南は九州に至る全国各地の業者が腕によりをかけた七五〇点が出品されることになつております。又小中学生の社会科の勉強になる各種の図解や、主婦の方々には毎日のお料理の手助けとなる献立など様々な展示品がありますが、これは毎年各地持ち廻りで開催されるため二十数年後でなければ二度と見られない催しであります。

なおこの催しは水産庁、新潟県、新潟市、全国蒲鉾協同組合の共同主催によるものでありますからふるつてご観覧下さい。